



かがやく浜の子

令和3年度9月号

令和3年度重点目標 「気づき 考え 自分から行動する子 → かがやきいっぱい」

コロナ禍だからこそ大切にしたい「心の距離」

子供たちが毎朝、校舎東側の通用門から昇降口へ向かう通路の左手側の「自学の像」については、学校だよりで何回か取り上げさせていただきました。もう一方の右手側には、二つの石碑があります。どちらも50年ほど前の卒業記念碑で、「校歌が刻まれた石碑」と「高学年の男女二人の子が、下級生の手を引いている様子が描かれた石碑」です。後者の石碑には、「学校だより7月号」で話題に挙げた下級生を思いやる態度が象徴されているような気がします。



【二つの石碑】

さらに、昨年度3月、右手側に2本の木が植樹されました。一つは昨年度の6年生が総合的な学習の売り上げで、学校に残してくれた百日紅（サルスベリ）、もう一つは、新神子まちづくり委員会から贈呈を受けた、徳川家康ゆかりの白羽柑子（しろわこうじ）です。今、百日紅にはきれいな花が開き、白羽柑子には初めての小さな実がなっています。コロナ禍でありながらも、自然界の営みは力強く、季節は確実に進んでいることを、2本の樹から感じています。



【百日紅】



【白羽柑子】

さて、2学期の始業式では、コロナ禍であるからこそ、より一層周りの人のことを思いやる気持ちを大切にしてほしいという願いを込めて、腰塚勇人（こしづかはやと；講演家、元高校教師）氏の「5つの誓い」の話をしました。いくつかのテレビ番組にも出演もされたことがある方なので、ご存じの方もいらっしゃるかもしれません。

腰塚さんは、念願の中学校の体育の教員になり、学級担任、バスケット部の顧問として情熱を傾ける日々を送っていました。しかし、スキー中に転び、「首の骨」を折ってしまいます。奇跡的に命は助かったものの、首から下がまったく動かなくなり、医者からは「一生、寝たきりか、よくて車イス」と言われます。しかし、妻、父、母、医師、看護師、生徒たち、同僚などの応援と励ましを受け、奇跡的な回復力を発揮します。そして、「下半身と右半身は動かない」という障がいを残しながらも、4ヵ月で学校に戻り、再び担任の先生として復帰します。生死をさまよった腰塚さんが、教職に復帰する際に、病床で受けた多くの支援に感謝し、これからの生き方として自身に課したものが、次の「5つの誓い」です。

- ① 口は、人を励ます言葉や感謝を表す言葉を言うために使おう
- ② 目は、人のよいところを見るために使おう
- ③ 耳は、人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
- ④ 手足は、人を助けるために使おう
- ⑤ 心は、人の痛みがわかるために使おう

コロナ禍ですから、人との物理的な距離は離れることに気をつけなければなりません。給食時は、子供たちも職員も黙食を心がけています。もちろん、日常の会話も表情が読み取りにくいマスク越しです。そのような時だからこそ、人と人との「心の距離」は近づきたいと思うのです。

(文責 校長)

9月～10月の予定

9月	17	金	特別日課5時間 給食あり
	20	月	敬老の日
	21	火	特別日課4時間 給食あり →普通日課に変更
	22	水	特別日課4時間 給食あり
	23	木	秋分の日
	30	木	新体カテスト
10月	1	金	委員会
	4	月	特別日課4時間 給食あり 個別面談
	5	火	特別日課4時間 給食あり 個別面談
	6	水	特別日課4時間 給食あり 個別面談
	7	木	個別面談予備日
	8	金	前期成績票配布 スクラムの日
	12	火	アスパル移動図書館
	14	木	6年参観会 教育講演会 修学旅行説明会 1～4年5時間
	18	月	6年動物愛護教室
	21	木	どんどん読み聞かせ グループ活動 アスパル巡回
	22	金	特別日課5時間
	29	金	1～4年参観会

※諸事情により
予定が変更になることもあります



9月10日 学校保健委員会を実施しました

堺市教育委員会指導主事:藤井清司さんを講師に迎え、Zoom で睡眠の大切さについての講話を6年生にさせていただきました。睡眠は脳の回復や脳を育てること、気持ちを落ち着かせる等の大切な役割がある一方で、日本人の睡眠時間は世界一短く、この50年で寝る時刻が1時間以上遅くなっていることが紹介されました。そのような中で、良い睡眠を取るにはどうしたら良いのか、という話がされました。

9月14日 4, 5年生海洋体験の実施

緊急事態宣言が延長されたこともあり、実施の判断も難しかったのですが、午前中に4年生が午後に5年生が行うようにして、規模を縮小して実施しました。あいにく小雨が時折ぱらつく天気でも気温もあまり高くなかったのですが、子供たちはカヤックやSUPの体験に大喜びで、海を満喫して帰ってきました。



通学路合同点検

市役所職員や警察署、学校職員での通学路合同点検を実施しました。7月に行った「交通安全リーダーと語る会」で挙げた場所の内、3箇所について現地へ行って協議しました。

場所によっては歩道の白線や停止線が薄くなっているところもあったので引き直すことにより、改善されることになりました。

